



No. 2 8

有脇小学校校長だより

2019・11・14



# そしてお米に

5年生が取り組んでいる「稲作」が完結しました。9月にかかしを立て、10月16日に稲刈りを行いました。はざ掛けをした後、10月24日に脱穀と精米を行いました。稲刈りでは鎌を使った方法を体験し、刈り取った稲を縛ってはざ掛けする体験もしました。脱穀では、江戸時代に使われていた

た道具（千歯こき）、明治に入って使われていた道具（足踏みドラム式）、昭和に入ってから道具（ハーベスター）をすべて体験しました。博物館で「昔の道具」の展示はよくありますが、有脇小学校では実際にその道具を使う体験をすることができるのです。すごいことです。そして、作ったお米がちゃんとした袋に入れられ、販売された（公民館の文化・作品展で）ということです。子どもたち（+全職員）にも一袋ずついただきました。ラベルには「名称：ありわきっこ 等級：最上級 おいしさ：抜群」と記されています。オリジナルブランド米です。東工区、有脇の農地・水・緑を守る会、菜の花クラブを始めたくさんの学校応援団のみなさんに本当に感謝です。ありがとうございました。子どもたちの一生の宝物になった稲作体験でした。



# 自分の命は自分で守る

1月5日に火災の避難訓練を行いました。学校では火を扱う場所が限られています。学校以外では、いつどこで火災に遭遇するかもしれません。そんな時に備えて、避難する訓練を行いました。口にハンカチなどを当て、姿勢を低くして逃げるといった火災での避難の仕方を練習しました。学校では「おはしも（おさない、走らない、しゃべらない、もどらない）」ですが、火事を見つけたら、まずまわりの人に知らせるために「火事だ！火事だ！」と大声で叫ぶことが大切だと、消防隊員の方に教えていただきました。約3分30秒ほどで、全員が運動場へ避難することができました。その後、2・4・6年生（選抜）は消火器による消火訓練を、1・3・5年生（希望者のみ）は、煙体験をしました。いざというときに冷静になって、自分の命は自分で守る判断をすることができるために、訓練は大切ですね。



## 本を読んでもらうこと



有脇小学校では学校応援団「読み聞かせ」のみなさんに毎週金曜日に読み聞かせをしていただいています。その活動とは別に、読書週間中いろいろな読み聞かせを行っています。お昼の放送では、毎日学習委員会の子どもが読み聞かせをしています。（これが、いいところで終わるんです（笑））。「読み聞かせミステリーツアー」と銘打って



て教員が低・中・高学年それぞれ3か所、合計9か所に分かれ、本の題名だけを子どもたちに知らせ、読み聞かせを行います。誰が読んでくれるのかわからないのです。これは3回行いました。スマイル団（縦割りの活動）では、6年生が読み聞かせを行いました。

不思議ですが、本を読んでもらうと、なんだかとても幸せな気持ちになります。本が大好きな子どもたちを育てていきたいと思っています。